



地域の患者さんと共に、地域と共に！ 地域医療連携ニュース



3.0テスラMRI

今号の内容

形成外科の開設について	2
腎臓内科について	2
第7回地域医療連携懇親会	3
3.0テスラMRIの導入	3
第5回地域医療連携講演会	4
地域医療連携委員会委員長就任あいさつ	4

新規開設のご紹介

形成外科の開設について

形成外科 主任医長 井原 望

平成24年4月より形成外科が開設されました。一人体制を生かし、小回りの利く診療を心掛けていきたいと思っております。逆に、ご不便をおかけする事もあるかと思っておりますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

形成外科は、体表や顔面を対象とする科です。ケガ、できもの、しこり、皮膚潰瘍など、お気軽にご相談ください。美容的なことは自費診療になります。

まだ行っていませんが、耳垂部ピアス穴あけ、しみの軟膏治療の準備を進めています。現在、自費診療としては、陥入爪のクリップ治療（約1万円）を行っています。（陥入爪の処置・手術など、通常の診療は保険診療です。）



診療表	形成外科	日						
		月	火	水	木	金	土	
午前	休診	休診	休診	井原	休診(手術)	井原		
午後	井原	井原	井原	休診	休診(手術)			

- 診療開始 平成24年4月23日から
- 場 所 2階・麻酔科
- 午前診療 ▶ 木・土曜日
- 午後診療 ▶ 月・火・水曜日
- 手術日・休診 ▶ 金曜日

腎臓内科について

腎臓内科 主任医長 西野 克彦

北海道十勝地方の自然あふれる風土にあこがれ、4月より腎臓内科医として着任しました。札幌医科大学第二内科で築き上げられてきた腎疾患診療の伝統を引継ぎ、発展させていけるよう、微力ながら頑張りたいと考えております。

当科の目標は、腎生検を含めた腎炎、PTAやシャント造設術などのブラッドアクセス管理、保存期腎不全管理、腎移植、透析療法、水電解質代謝異常などを、一貫して診療できる総合腎臓内科の体制を構築していくことです。また、地域住民に向けた慢性腎臓病、腎移植医療の啓蒙活動にも取り組んでおり、帯広市民公開講座、足寄町の健康作り講演会などにも参加しております。

地域に必要とされる総合腎臓内科医（トータルネフロロジスト）として十勝の医療に貢献していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



診療日は 火曜日午後と水曜日午前になります

第7回地域医療連携懇親会



日時：平成24年6月20日(水)
19:00～21:00
場所：ホテル日航ノースランド

平成18年以降、今年で7回目の地域医療連携懇親会を開催いたしました。帯広協会病院のOB医師16名を含む十勝管内医療機関から31名、当院からは院長以下医師30名、合計61名の先生方に参加頂きました。及能院長の開会挨拶後、田中章二先生（田中医院院長）から来賓

代表の挨拶を頂戴し、秋川恵二先生（秋川内科医院院長）の乾杯の音頭で懇親会が始まりました。当院平成23年度患者紹介状況の報告、当院新任医師の自己紹介、参加医療機関の先生方の自己紹介へと続きました。

懇親会場では、地域の先生方と当院医師が診療科に関係なく懇親を深め情報交換などされ、なごやかな雰囲気での懇談は予定の2時間が短く感じられるほどでした。最後に一柳伸吾先生（いちやなぎ内科消化器科院長）の乾杯で閉会となりました。

平成18年の懇談会開催時には、当院OB医師中心の会でしたが、現在では十勝管内の医療機関から多数の参加を賜る会に成長いたしました。今後も地域の諸先生方との連携を継続かつ深めていく所存です。

当院は、十勝の急性期医療を支えて参ります。今後とも、諸先生方のご協力のほど宜しくお願い致します。



3.0 テスラMRIの導入

当院は、この度MRI装置最高峰 3.0テスラMRI装置を導入いたしました。3.0テスラMRI装置は高いSNRを利用し、きわめて高画質な画像が短時間で得られるのが最大の特徴であります。脳、脊椎、関節を始め、最新の乳房用コイルやAtlasコイル（全身コイル）により、全身のすべての部位において検査が行えます。特に従来苦手とされてきました、腹部領域の検査においても安定した高分解能画像の提供が可能です。

帯広協会病院は地域医療をになう医療機関さまの画像検査を受け入れ出来るよう努力してまいります。是非ご利用いただければ幸いです。

第5回地域医療連携講演会

院内3階講堂



日時 平成24年1月27日(金) 18:30~20:00

演題 「どこまで知っていますか？」

結核の基礎知識と実態

講師 札幌医科大学 医学部内科学第三講座
教授 高橋 弘毅先生

解りやすく貴重なご講演を頂き、院外19名(内医師12名)院内60名(内医師15名)計79名の参加を頂きました。今後も継続して講演会を企画します。

地域医療連携委員会委員長就任あいさつ

地域医療連携委員会 委員長 菅野 三信

本年4月より、地域医療連携委員会の委員長を仰せつかった、脳神経外科の菅野です。私が帯広協会の病院に着任し脳神経外科病棟を再開してからは2年程ですが、帯広に住んで丸20年、断続的な時期も含めると23年程生活して居る事も背景に有るでしょうか。前委員長の麻酔科の清水先生の札幌転出に伴い、引き継ぎ・指名されました。

院内は、今年度だけでもかなりの変動が有ります。循環器・呼吸器は縮小しますが、形成外科・腎臓内科が新設されました。否応無しに、病診連携が加速されて行きますが、皆様の御期待や御要望に応えられる様、連携室全体で頑張りたいと思います。また、病診連携と言いますと、どうしても前方連携ばかりに注目が集まりますが、後方連携にも力を入れていきたいと思っています。それらによって互いに学び、当院を含めた帯広・十勝の医療福祉のレベルアップの一助を担えれば幸いです。

皆様の忌憚りの無い御意見・御希望・改善点等何でも結構です、気軽に連携室にご連絡下さい。今後とも宜しくお願いいたします。



地域医療連携委員会スタッフ

委員長(主任部長)	菅野 三信(新)	事務部次長	船戸 徹
看護部長	田中 美智子	医事課長	尾山 弘晃
事務部長	片桐 守	地域医療福祉連携室長	佐藤 慶治(新)
外来師長	関井 真由美	医療福祉相談係長(MSW)	田巻 憲史
薬剤科長	菊池 大作	社会福祉士(MSW)	板垣 祐太(新)
画像診断科長	永井 克昭	地域医療福祉連携室看護師	森 ゆかり(新)
臨床検査科長	後藤 浩実(新)	地域医療福祉連携室スタッフ	竹林 佳美(新)
リハビリテーション科長	森 茂樹		古田 陽子(新)
医療安全対策室長	渡邊 公子(新)		菅野 智恵(新)